

# ダイセキの価値創造

## 価値創造の歩み

ダイセキは1945年に創業、1958年の設立から今日に至るまで様々なイノベーションを生み出し、日本のモノづくりの下支えをしてきました。

### 創業期 1945→1970

油脂精製業から創業。産業の発展に伴う社会環境の変化を予測し、処理事業を開始。

拠点数 ..... 2 拠点

- ダイセキ本社
- ダイセキ本社以外の拠点
- 許可取得エリア

**1945年**  
・ナタネ油を起点に三重県で油脂精製業を開始(ダイセキの原点)

**1954年**  
・自動車の普及を予見し、ガソリン販売業を開始

**1955年**  
・廃油から工業油に再生するリサイクル事業を開始

**1961年**  
・コンクリート製品の普及を予見し、コンクリート離型剤等の製造・販売を開始(ダイセキ及び北陸ダイセキ株式会社)

**1966年**  
・公害の深刻化を危惧し、廃油処理事業を開始

大同石油化学工業

### 胎動期 1971→1990

廃油処理に続き、廃水処理事業にも着手。産業廃棄物処理事業への道を歩み始める。

拠点数 ..... 6 拠点  
許可取得数 .. 35 自治体

**1971年**  
・廃水処理事業を開始

**1972年**  
・1970年の廃棄物処理法の制定を受けて名古屋市で産業廃棄物処理事業の許可第一号を取得

**1980年代**  
・活性汚泥による廃水処理を開始  
・セメント企業向けの補助燃料の製造を開始  
・セメント向け汚泥のリサイクルを開始

名古屋事業所

### 飛躍期 1991→2000

環境創造企業としての歩みを進め、分社化、株式公開を実施。

拠点数 ..... 9 拠点  
許可取得数 .. 42 自治体

**1995年**  
・株式を店頭公開

**1997年**  
・「第10回廃棄物と生活環境を考える全国大会」で厚生大臣賞(生活環境改善事業功労者賞)を受賞

**1999年**  
・東京証券取引所市場第二部に上場

**2000年**  
・東京証券取引所市場第一部に指定替え  
・汚染土壌浄化事業を開始(株式会社ダイセキ環境ソリューション)

東京証券取引所市場第一部に指定替え

### 発展期 2001→

社会を支える環境創造企業として発展。資源を循環させるビジネスモデルを展開。

拠点数 ..... 49 拠点  
許可取得数 .. 49 自治体

▶ P.54 優良産廃処理業者認定制度

**2007年**  
・鉛のリサイクル事業を開始(株式会社ダイセキMCR)

**2009年**  
・廃石膏ボードのリサイクル事業を開始(株式会社グリーンアローズ中部)

**2010年**  
・大型タンク清掃事業を開始(システム機工株式会社)

**2013年**  
・廃石膏ボードのリサイクル事業を増強(株式会社グリーンアローズ九州)

**2023年**  
・廃プラスチック及び古紙のリサイクル事業を開始(株式会社杉本商事、有限会社杉本紙業)

東日本大震災被災地の復旧を支援

### 社会の動き

- ・自動車が普及し始める
- ・大規模ガソリンスタンドの建設が始まる
- ・コンクリート製品の需要が高まる
- ・公害問題の深刻化に伴い「公害対策基本法」が成立
- ・「廃棄物処理法」が成立。廃棄物処理事業が許認可業となる

- ・オイルショックの発生に伴い「省エネ法」が成立
- ・セメント業界にて再生燃料の利用、汚泥等の廃棄物の再資源化が始まる

- ・「環境基本法」の制定に伴い地球環境保全問題への意識が高まる
- ・日本海のロシア船タンカー・ナホトカ号重油流出事故で復旧支援活動を実施
- ・バブル崩壊、国内から海外へ生産拠点の移転が進む

- ・「循環型社会形成推進基本法」の制定により3R(リデュース、リユース、リサイクル)への関心が高まる
- ・東日本大震災で復旧支援活動を実施
- ・温室効果ガス排出量の削減に向けて「GX推進法」が制定
- ・経済産業省が「サーキュラーパートナーズ(略称:CPs)」を発足
- ・能登半島地震で復旧支援活動を実施

